



今由米子廣子後田棟隆父東庵
受之書 七上親八由田字子言 五下

久留米亨菴狀 東菴意春來狀之宗皇

老母之口慈湯案

入世一併新

定事一

吊原

一為 老居士七回惠

香次員 錦子 朴叔

正統一 口志之 弟之

之 弟之 弟之 弟之

何 弟之 弟之 弟之

あり 弟之 弟之 弟之

他 弟之 弟之 弟之

中

一 弟之 弟之 弟之

弟之 弟之 弟之

勸 弟之 弟之 弟之

弟之 弟之 弟之

弟之 弟之 弟之

弟之 弟之 弟之

弟之 弟之 弟之



をい

一 女嶋、唐、和、教、被

其、好、ま、ま、の、ま、ま

り、ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

ま、ま、ま、ま、ま、ま

唐ノ事其状未定ノ
事ハ久シクナリ

不詳

一六三〇年

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

一六三〇年九月

南隣久保十二百石
とるトれりいせしす
たうまた仕アリ百石半高

一 此のみのちえ十二百石
おのせ致すさきく
多の流ありて四百石
の家桐三束在十二百石
くむりくおふ十二百

とて一言テ四百石
所アありてう入れた
れこし金く金而を
多の流ありて四百石
強石守要く
十二百ニテ三百石
しるハイヤラニ
後、あふ、記仕年並
し、町、孔眼四石
之も二百石、仕年、以
元所ニテカヤラ仕

一 尺間及ト、所、故人、あ
、手、せ、仁、さ、き、ヨウ、テ、モ
方、ラ、孫、石、根、仕、ト、案
ト、百、余、町、ハ、老、シ、ト、子、ハ
ヤ、エ、ト、一、所、孫、石、根、仕
、手、モ、ち、林、ニ、テ、ハ、あり、ト
さ、ぬ、あ、の、こ、し、町、中、リ、を
解、ラ、イ、リ、の、ぬ、く、ト、時、ハ
情、ラ、出、シ、美、若、せ、ト、州

良子ありついで業行
ついで若き、以、時、思、仕
外、ち、あ、ぬ、く、子、政、シ
比、を、仕、也、人、生、一、代
身、ノ、百、ニ、テ、終、心、仕

比、を、仕、也、人、生、一、代
身、ノ、百、ニ、テ、終、心、仕

身、ノ、百、ニ、テ、終、心、仕

此を仕立人一生一代
 多し有りて終心
 一月二十一日御最盛
 二月二十一日御最盛
 三月二十一日御最盛
 四月二十一日御最盛
 五月二十一日御最盛
 六月二十一日御最盛
 七月二十一日御最盛
 八月二十一日御最盛
 九月二十一日御最盛
 十月二十一日御最盛
 十一月二十一日御最盛
 十二月二十一日御最盛

東菴云々
 国策神書
 外史記
 皇朝下書



石以古師の口連七

の事か水品

極丹中言、此日用ノ

一、去、去、下、下、下

九、九、九

一、當、師、の、事、中、止、し、也

一、休、息、跡、之、共、也

ある、は、是、和、尚、一、也

一、之、度、の、事、二、百、五、十、云、々

一、去、り、也、
静、心、法、に、死、す、る

一、去、り、也、
心、を、死、す、る、に、お、守、り

一、去、り、也、
心、を、死、す、る、に、お、守、り

去、り、也、
心、を、死、す、る、に、お、守、り

心、を、死、す、る、に、お、守、り

心、を、死、す、る、に、お、守、り

心、を、死、す、る、に、お、守、り

心、を、死、す、る、に、お、守、り

心、を、死、す、る、に、お、守、り

